



こうふ町 議会だより

町勢
世帯数/1,171世帯
人口/3,793人
(平成18年7月1日現在)

町の木



ぶな

町の花



あやめ

夢に向かって!



一般会計補正予算（2回目）4,790万円を追加補正……………	2 P
いっぱん質問 町政を問う……………	4 P
一般質問のその後は？……………	7 P
私もひと言……………	8 P

6月定例会

一般会計

補正後

34億8,590万円に (4,790万円を追加)

平成18年6月定例会は6月16日に招集され会期を6月21日までの6日間と定めて開かれた。

今回の定例会には、条例の専決処分したものを含め、改正が7件、変更が1件、平成18年度補正予算が7件、工事請負契約が1件の16議案が上程された。

議会ではこれらについて慎重に審議した結果、いずれも原案どおり承認及び可決した。

19日の本会議では2名の議員が一般質問を行い、学校教育問題と子供の安全対策、地域の活性化について活発な議論がかわされた。



防災ボランティアの発足

条例関係の 主なもの

江府町国民健康保険税
条例の一部改正

国民健康保険加入者40才以上65才未満の介護保険料一人当たりを前年並とし、税額を改正するもの。

被保険者均等割部分を、7200円から7400円に改正。それに伴い総

所得が規定額を超えない世帯に対する減額される額も改正。

江府町職員の勤務時間
休暇等に関する条例の一部改正

人事院勧告により職員の休息時間の制度が廃止されたことから、勤務時間午前8時30分〜午後5時30分とする改正。

江府町非常勤消防団員の退職金支給に関する条例の一部改正

消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律の改正により、退職報償金が若干増となる改正。

江府町山村広場等の設置及び管理に関する条例の一部改正

鳥取県から土地改良財産の譲与を受けた事により、次の施設を加える改正。

施設の名称 柿原農村公園。位置 鳥取県日野郡江府町大字柿原字足谷1534-13

江府町民芸品等工芸施設の一部改正

民間活用賃貸住宅建設に伴う江府町民芸品等工芸施設の移転により江府町大字佐川1005番地1を江府町大字江尾505番地に設置する改正。

江府町簡易水道等施設設置及び給水に関する条例の一部改正

大谷、美女石地区飲料水供給施設を江尾地区簡易水道施設に統合する。



広域農道災害防除事業実施場所（下蚊屋～笠良原間）

補正予算

一般会計

平成18年度一般補正予算（2回目）は、歳入歳出それぞれ4790万円を追加し、予算総額34億8590万円とした。

主な内容は次のとおり

歳入の主なもの

県支出金 514万円増
 寄附金 150万円増
 繰入金 335万円増
 町債 3770万円増

歳出の主なもの

総務費
 償還金利子及び割引料 335万円増
 情報処理室の光ケーブル支障移転工事費 80万円増

民生費

高齢者等住宅改良助成補助金 106万円増
 児童福祉施設整備工事請負費 52万円増
 衛生費

衛生費

一般廃棄物収集運搬委託料 195万円減
 簡易水道特別会計繰入金 305万円減

農林水産費

加工用キャベツ産地化チャレンジ事業補助金 100万円増
 柿原竹炭、竹酢活性化事業補助金 100万円増
 広域農道災害防除事業 3750万円増

商工費

地域景観施設整備補助金 150万円増
 教育費
 運動公園保守管理委託料 247万円増

土木費

道路維持費の修繕料 136万円増
 予備費 132万円減

予備費

笠良原市民農園特別会計
 市民農園管理費 33万円増

特別会計

主なものとして

国民健康保険特別会計

事業勘定
 糖尿病予防対策委託料 666万円増
 糖尿病予防教室備品費 380万円増

老人保健特別会計施設勘定

繰出金 421万円増
 老人保健特別会計（第1号）償還金 1004万円増

笠良原市民農園特別会計

市民農園管理費 33万円増

簡易水道事業特別会計（第1号）

水質検査委託料 457万円減
 農業集落排水特別会計測量設計委託料 108万円増

請負契約の締結

吉原地区農業集落排水処理施設工事請負契約の締結
 契約金額 6300万円（消費税含む）
 請負者 広島県広島市安佐南区川内5丁目1-22 株式会社ダイキアクシス 広島支店

一般質問



子供達の安全対策について 郵政問題について

田中 幹 啓

問	子供達の安全対策は
答	保、小、中の安全対策は行っている

質問 最近、子供が親を親が子供を殺すなど常識では考えられない事件が毎日のように起きている。又学校現場で、子供達の登下校で幼い命が奪われている。本町においても高速道路路時代の中、犯罪が起きる可能性が無いとは言えない。本町はどのような対策、訓練を行っているか伺う。

町長答弁 本町の学校、保育園の安全対策については不審者の対応、避難訓練などを行なっている。スクールガードシステムの確かな運用なり、危機管理マニュアル、災害、防災計画も作成し、万が一、事故が発生しても適正、迅速に対処し被害等が起きないよう努力している。大切な事は行政、学校、保護者、警察、地域が一体となって安全な学校生活や登下校を計って行く事だと考えている。

問	江尾郵便局の将来は
答	近隣町村を含めて、統一行動を起こしながら対応する

質問 本当の身を教えないで、サービスは低下

町長答弁 五月二日に郵政公社から説明を受けた。集配業務については根拠局に集約されるが、預金、金融、窓口等については現状通りという報告であった。将来の動きについては情報収集を行い、あすの江尾郵便局のあり



江尾郵便局

方を見つめながら、国に対して要望要請、その他行動を起こす必要性を感じている。



教育振興対策について 町の活性化対策について

日野尾 優

問	特色ある学校や学校運営の個性化は
答	課題を明確にし、目標を立て、実践する

質問 臨時教育審議会の答申で「教育における地方分権を推進し各地域の各学校の多様な個性、自主性、創造性を発揮できるようにし、自立性、自己責任、当事者能力の強化をはかる必要がある」と提言していた。地方分権が進む中で、教育基本法改正議論もありますが、特色ある学校、学校運営の個性化について教育長に伺う。

教育長答弁 特色ある学校づくり、学校運営の個性化については、平成9年の教育課程の基準改善のねらいの一つに掲げられてから盛んに言われるようになりました。町内の学校では、郷土学習に力を入れてる学校、学校評価に重点を置いて学習指導の改善を進めている学校、地域との連携を深めながら体験活動を重視している学校等、それぞれ工夫しながら実践しており、各校の実態、地域の状況等をふまえて、課題を明確にし、目標を立て、実践します。

問	小学校統合に向けての対応は
答	保護者会等と校区別説明会を開催する

質問 21年4月開校を目指す小学校統合には、住民の理解と協力が必要であります。住民説明会等の予定について教育長に伺う。



小学校統合説明会

教育長答弁 6月中に各小学校PTA対象の説明会と保育園の保護者会の説明会を行い、それが終わりました。町長日程にあわせて校区別に住民説明会を開催します。

問	農林業振興対策は
答	担い手集団を育成する

質問 農林業の低迷は、本町の課題の一つであり、恵まれた豊かな自然環境から産出された資源を利用した第6次産業を基本に農林業の活性化を図る必要があると考えるが、また、その振興対策として本格的な「水サミット」を開催し、町の活性化を推進したらどうか町長に伺う。

町長答弁

農業の発展、農村社会の維持のためにも、集落営農組織や認定農業者、新規就農者を含めた担い手集団を育成し、生産性の高い農業を目指し、地域農業を振興していく必要があります。第6次産業は農業の総合産業振興であります。江府町は近年幾つかの事業がその形になっていくと存じますが、林業は生産という経済的機能と国土保全、水源涵養、自然環境の保全等の公益的機能を発揮させるため、国、県の応援をいただきながら、林業従事者が、林業関係団体等各関係者が役割を認識して、主体的な取組を進めることが必要です。そして、水に係る多種多様な取組を通じて広く一般の方や地域住民の皆さんが水に対してより関心を持ち知識を深めることは、水フオーラムも一つの方法であり、検討したいと考えます。

陳情の結果

みなさんから提出のあった陳情を常任委員会で審査し、委員長の報告を受け6月定例会本会議で審議した結果、次のとおり決定しました。

件名	審議結果
「市場化テスト法案」に関する意見書採択の要請	不採択
江府町の「鳥」指定についての陳情書	不採択
出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める陳情書	採択
教育基本法改正に関する意見書の提出について	継続審査
地方交付税制度の財源補償機能を堅持し、充実させる陳情書	採択

5月19日臨時会

会期を一日とし、提出された十一議案を審議し、いずれも原案のとおり、可決、承認した。

提出された 主な議案

大山第2地区広域農道笠原下蚊屋線改良工事
請負契約の締結について

笠原地区で進められている企業誘致関連事業で、企業（サントリー）進出予定地内の広域農道改良工事請負契約の締結を議決。

- ・内訳
- ・方法 指名競争入札
- ・金額 1億8480万円
- ・相手方 かわばた・住田・コーセン共同企業体

江府町笠原地区工業団地造成工事請負契約の締結について

笠原地区で進められている、企業進出地の造成工事請負契約の締結を議決。

- ・内訳
- ・方法 指名競争入札
- ・金額 1億9107万9千円
- ・相手方 浜本・沢玉・日野土木共同企業体

一般会計補正予算 (第1号)

江府町民間活用賃貸住宅建設管理運営事業に伴う債務負担行為補正(期間は平成18年度から平成27年度で据え置き5年) 2080万9千円

※江府町民間活用賃貸住宅建設管理運営事業について

住宅の整備促進を図るため、江府町と江府町集合住宅有限責任事業組合が、「管理運営に係る協定書」、「建物譲渡特約付公有財産使用賃貸借契約」を締結し、有限責任事業組合が事業を行う。

- 設計・建築・維持管理
- 家賃収納の事務手続きは事業組合が行う。
- ・30年後に、町が残存価格で買上げる。
- 事業内容
- 事業見込額 2階建て2DK8戸 4777万円
- 完成予定 平成18年8月末
- 家賃設定額 家賃 3万8千円以下
- 共益費 千円
- 駐車場 2千円以下

企業からの報告

(政治倫理条例関係)

平成18年5月23日付け

報告のあった企業

株式会社 かわばた

議員と企業との関係

代表取締役

契約の内容

大山第2地区広域農道笠原下蚊屋線改良工事

請負の方法

指名競争入札

契約金額

1億8480万円

企業の考察等

かわばた・住田・コーセン共同企業体が

請負った金額(1億8480万円)の35%

が(株)かわばたの構成比率であり、この

工事を請負つても(株)

かわばたの業務の主要な部分を占めている

とはいえない。

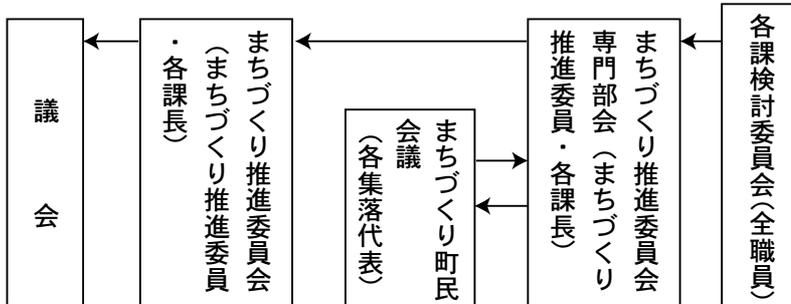
その他

平成17年度(株)かわばた完成工事高6億2

216万3千円

一般質問のその後は？

(竹内町政誕生後)



平成16年
9月定例会

問 行財政改革は
答 地域再生推進委員会
(仮称)を設置し取組む
その後

平成16年12月に行財政
改革推進組織を設置し、
テーマは
「小さくても元気で明る
く輝く江府町づくり」。

問 町の将来構想は
答 安心に暮らせる町づ
くり
その後

自然的立地条件にマッ
チした企業誘致により、
雇用の場を拡大し安心に
暮らせる町づくりが進め
られている。
(18年4月から操業した
最初の企業誘致)



奥大山ファクトリー (氷工場)

問 自立の町づくりの
決意と抱負は
答 地域住民と一体とな
った行政を實行
その後

現在行われている取組
・退職勧奨制度
50歳勧奨、58歳で再
度勧奨
・集中管理による物件費

の削減
・人件費の削減・見直し
・各種団体、集落等への
負担金補助等見直し

問 図書館行政は
答 生涯学習の拠点とし
て充実する
その後

面積が狭いため、蔵書
数は増やせないが、図書
館司書をおき、充実が図
られている。



図書館司書の紹介

問 山川図書館司書
(防災情報センター内)
答 お手玉の普及と
健康対策は
啓発に努める
その後

啓発は進んでいない。

平成16年
12月定例会

問 庁舎整備計画は
答 町民の利便性を視野
に
その後

財政状況から、元利償
還のピークとなる平成21
年度以後の見込み。

問 老健施設整備は
答 18年3月完成予定
その後
問 指定管理者を日野病院
組合とし、平成18年6月
に開所
問 学校施設統合整備は
答 統合校は現施設を有
効利用
その後

平成18年3月15日に小
学校統合について、統合
校舎は、江尾小学校の施
設とすることが望ましい。
時期については平成21年
4月1日を目標とされた
旨の答申がなされた。

平成18年6月20日から
7月31日の間保護者、一
般住民に小学校統合につ
いての説明会が実施され
る。

問 小江尾工業団地の
今後は
答 企業誘致に努力する
その後

投資額は1億1180
万円、実質販売可能面積
2.8ヘクタール。
平成10年度からパンフ
レット等作成し、誘致宣
伝に努めているが、企業
誘致に至っていない。

問 町歌の制定は
答 制定に向け
取組みたい
その後

平成18年5月2日、町
長に対し明徳学園学生自
治会長他4団体から町民
歌制定の陳情
6月6日に江府町民歌
制定準備委員会が開催さ
れ、町民歌として平成19
年8月までに完成予定。
今後、策定委員会が設
立される予定。

ひりり



神戸市 手島 隼人
(詩人・作曲家)

「町に文化の匂いを…」

ふるさと江府を離れて、気がつけば五十数年の歳月が流れていました。その間、ふるさとを思わぬ日はなく、この美しい江府の山河こそが私の創作の原点となっています。

さて、今年の一月、ウィーンのコンツェルトハウスで自分の作曲を発表してきました。五月には、来年三月に催される日本とリトニアの国際文化交流の視察団の一人として当地へ出かけ、参りました。この国はソヴィエトの圧政に歌うことで心を一つにして耐えたと

言われ、今でも国をあげて歌合唱)がとても盛んです。私は江府町が美しい山河に呼応して、文化の匂いのする町に発展していくことを心から願っています。世界を見渡しても、民主主義や文化の遅れた国々は、現在どうなっているかご存知だと思います。幸いなことに江府町は賢明な竹内町長さんと、町を愛する町会議員さん達がいらつしやるので、この方々を信頼して町の発展を見守っていきたく思っています。お金で計ることができないもの、それこそが文化ですね。

余談ですが、億以上のお金をかけて蒐集した陶磁器：古伊万里の唐草のコレクションと、明治を中心とするものがあり、もし町が唐草のコレクションを買い上げてくださるなら、明治期の陶器二千点以上は寄贈してもよいと思っています。日本民芸館にも、国立博物館にも(全国どの美術館にも)ない規模の町立陶磁美術館が江府町内に誕生することになります。でもこれは単なる私の夢として残しておきましょう。サントリーあたりがバックアップしてくれるなら、実現可能なかも知れません。



御机 伊達 美佳

私の願い

小学生の頃、ソフトテニスの試合で江府町を訪れる事が度々ありました。目の前には、夏の青い空をバツクにそびえ立つ大山と入道雲。そんな景色を眺めながら、実家のある日南町とは全く違う自然に感動していた事を今もよく覚えています。

縁あって江府町に嫁いで来ました。この町で子育てをしていく上で、私の子供に願い、やらせてみたいと思った事は、江府町に生まれたからこそ出来る事でした。

大山という自然のもと出来るスキーと、昔から盛んなソフトテニスはどうしてもやらせたいと思い、幼い頃から慣れ親しませてきました。この小さな町にスキー場がふたつもあるという事はすばらしい財産であり、ソフトテニスも沢山の経験者の方もいて、子供達にとつては非常に恵まれた環境だと思えます。この町に生まれたからには、出来ないより出来る方がいい。そう思いました。だから

からどの子供達にもスポーツの楽しさを平等に経験してもらえたらなと思います。どんな形がベストなのかは分かりませんが、元氣なシニアの方と子供達でそういうスポーツ教室がもつともっと盛んに出来れば、小さな町の世代を越えた交流と町の活性につながるのではないかと思います。

近い将来、小学校は合併します。各校区の特徴ある伝統芸能の合作芸能が出来、次世代へ続けばいいと思います。江府町に大事なのは元氣なシニアと子供がキーワードだと思えます。

今後の江府町に願う事は、子供がこの町に生まれ育った事にほこりを持ち、この町に生まれたからこそ出来た事。大人になり次の子供に、スポーツや芸能を伝えていく気持ちを持てるような子育て支援を望みます。それが江府町の未来を明るくしてくれるひとつだと私は思っています。

今、米沢小学校でソフトテニスを指導しながら思う事は、どの子供にもまずはテニスの楽しさを知り、そして勝負へこだわっていつてもらいたい。そして下の子供達へそれを伝えてほしいと思っています。

私の子育て論のようになってしまいましたが、もうしばらく続く子育てに、スポーツを通じながらつき合っていきたいと思えます。

あとがき

人間にとつて水は本当に大切な資源だ。飲み水だけではなく、そこに水の流れる音がするだけで私達は心安らかになる。

サントリーが江府町の太古の水を求めて進出決定してから一年。あの大地は大きく変わろうとしている。全国に水を発信するという歴史的転換は何を意味するのだろうか。

あの山、あの野原、緑いっぱいのブナ林。春遅くまで残る雪はいつも物を言わず、ただひたすら我々に「水」を届けてくれる。本当にありがたいことである。これからもこの大自然と共生しながら歩む江府町であつて欲しいものだ。

田中 幹啓

- 議会広報調査特別委員会
- 委員長 池田成弘
 - 副委員長 川上富夫
 - 委員 田中幹啓
 - 委員 日野尾優
 - 委員 長岡邦一